

北陸先端科学技術大学院大学ベンチャー・ビジネス
研究開発課題（令和5年4月開始分）募集要領

1. 目的

若手研究者等の知的活力を最大限に活用し、ベンチャー・ビジネスの萌芽ともなるべき独創的な研究開発を推進し、本学発のベンチャー企業の創出を目指した研究プロジェクトを実施することを目的とする。

2. 課題の募集

大学の研究成果を基にその実用化を目指し、ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー（以下「VBL」という。）の施設において独創的な研究開発を実施する課題を募集する。

3. 応募要領

（1）対象課題

次の二つを満たすものであること。

- ① 本学研究シーズに基づいたベンチャー・ビジネスの萌芽となるべき独創的な研究開発
- ② 将来的にビジネスとして本格的な事業化を目指すことを前提とした研究開発

（2）応募対象者

応募対象者は、ベンチャー・ビジネスの萌芽となるべき独創的な研究開発プロジェクトを実施し、ビジネスとして本格的な事業化を目指す次のいずれかに該当する者とする。

- ① 本学の教員（共同研究等により本学との連携協力関係を有する場合に限り、学外の研究者を研究開発代表者とする可。）
- ② 本学の学生（原則として研究開始時点で博士後期課程の学生が対象。博士前期課程の学生は指導教員の承認を得ることを応募の条件とする。）

（3）研究開発期間

最長3年とする。

（4）研究開発資金及び事業化に向けた資金

研究開発に係る経費及び事業化に向けた資金は措置しないため、申請者側で準備すること。

（5）VBLの施設利用について

課題が採択された場合、施設の利用に係る手続きを経て、VBLの施設内にある実験室や研究員室を利用することが可能。ただし、本学学生以外は利用料を負担するものとする。

施設利用申請手続きについては、採択者に後日改めて通知する。

詳細は、「ベンチャー・ビジネス・ラボラトリーの利用に係る経費の負担額及び負担方法に関する細則」抜粋を参照のこと。

なお、令和4年10月時点における利用可能な居室は以下のとおり。

※別途ご相談いただいた上で、見学可能。

- ① 研究員室（C9-34） 1室
（机、書類棚、ロッカー 設置）
- ② 共用実験室（ただし、既入居者と共同利用となる場合あり。）
・クリーンルーム（C9-10 *クラス 5, 000>） 1室
（*クリーンドラフトチャンバー設置）
- ・バイオハザード室（C9-20 *P2レベル） 1室
（*超純水製造システム、qPCR 装置設置）
- ・共同実験室
（C9-11、C9-25、C9-26、C9-37）4室
（*共同実験室にも、超純水製造システム、蒸留水製造装置、スクラバー
ユニット、実験台等の設備を設置。）

(6) 採択予定件数

令和5年4月における利用可能なVBL施設を考慮し、若干数を予定。

(7) 応募締切

令和5年1月5日（木）必着

※4月開始を基本とするが、必要がある場合には随時応募を受け付けているため、希望する場合は研究施設支援係にご相談ください。

(8) 提出書類

- ① 公募申請書 1部（左肩クリップ留め）
- ② 研究開発及び事業化のスケジュール 1部
- ③ 提案課題に関わる主要な文献3件以内の写し 各1部
- ※上記①、②のダウンロード

https://www.jaist.ac.jp/ricenter/_wp/wp-content/uploads/2023/03/VBLsinseisyo_2023_4.doc

https://www.jaist.ac.jp/ricenter/_wp/wp-content/uploads/2023/03/VBLschedule_2023_4.xlsx

※提出書類を受領後、内容を確認のうえ、ご連絡する場合があります。

(9) 提出書類送付先

提出書類は、以下の送付先・問合せ先までメール、持参又は配達状況のわかる方法（簡易書留又は宅配便等）で送付すること。

なお、応募条件、公募申請書作成方法等、本募集に関する問合せも併せて以下に連絡すること。

<送付先・問合せ先>

〒923-1292

石川県能美市旭台一丁目1番地

4. 課題の選定

提案課題の選考に際しては、学内外の専門家等によるベンチャー・ビジネス研究課題選定・評価委員会において提出書類に基づき申請者からヒアリングを行い、独創性、事業化の可能性、計画の妥当性等を評価する。この結果を基に学長が選定結果を決定する。

なお、選定結果は、令和5年2月上旬に申請者に通知する予定。

5. テクニカルレビュー（活動成果の発表）及び研究活動報告書の作成について

採択課題については、毎年度末にベンチャー・ビジネス研究課題選定・評価委員会において、課題の進捗状況を評価することを目的に、テクニカルレビュー（活動成果の発表）を開催する。その際、研究の進捗、成果及び今後の見通しについて、発表するものとする。

また、研究活動報告書に研究の概要、進捗、成果等について記入の上、毎年度提出すること。

「北陸先端科学技術大学院大学ベンチャー・ビジネス・ラボラトリーの利用に係る経費の負担額及び負担方法に関する細則」抜粋

第2条 利用経費の負担額は、次の表に掲げる室区分に係る負担月額に、規則第5条第1項により許可された利用期間の月数を乗じて得た額とする。

室 区 分	負担月額	備 考
共同実験室	40,000 円	
研究員室	20,000 円	左記負担月額は、1人当たりの額

2 次の各号に掲げる場合の利用経費の負担月額については、前項の表の規定にかかわらず、当該各号に定める額とする。

- (1) 共同実験室を利用する場合 前項の表に規定する共同実験室の負担月額に利用する面積に応じた割合を乗じて得た額
- (2) 定員を超えて研究員室を利用する場合 20,000 円に定員を乗じて得た額に、10,000 円に定員を超える人数を乗じて得た額を加えた額

3 次の各号に掲げる場合の利用期間の月数の算定については、当該各号に定めるところによる。

- (1) 許可された利用期間の開始の日が月の21日以降の場合 当該開始の日の属する月を除いて算定する。
- (2) 許可された利用期間の終了の日が月の10日以前の場合 当該終了の日の属する月を除いて算定する。

※上記金額は、消費税込みの金額